

障害者支援施設（入所施設） 検討のためのアンケート調査結果

令和 7 年 7 月
小金井市自立生活支援課

1 調査の目的

小金井市では、障がいのある人もない人も共に安心して地域で暮らしていけるよう、小金井市内での障害者支援施設（入所施設）の新規開設を目指し、小金井市地域自立支援協議会の専門部会（障害者支援施設検討部会）において協議を行っている。

専門部会での協議を進める上で、小金井市にはどのような施設が求められているかニーズを把握するため、当事者やご家族の方、事業者のそれぞれを対象にアンケート調査を実施した。

2 調査方法及び回答結果

(1) 当事者・ご家族の方向けアンケート

調査対象者	① 障害支援区分4以上（50歳以上で障害支援区分3以上）の方 ② 生活介護の支給決定者 ③ 小金井市手をつなぐ親の会の会員 ④ 市域の特別支援学校に通う児童・生徒
調査方法	郵送及び団体・学校経由で配布、WEBフォーム及び郵送で回答受付
調査期間	令和7年5月26日（月）～令和7年6月20日（金）
配布件数	674件 ※ 調査対象者の③、④に所属している方の詳細を市で把握していないため、①、②の対象者との重複を含んだ延べ件数としている。
有効回答件数	276件
回答率	40.9%

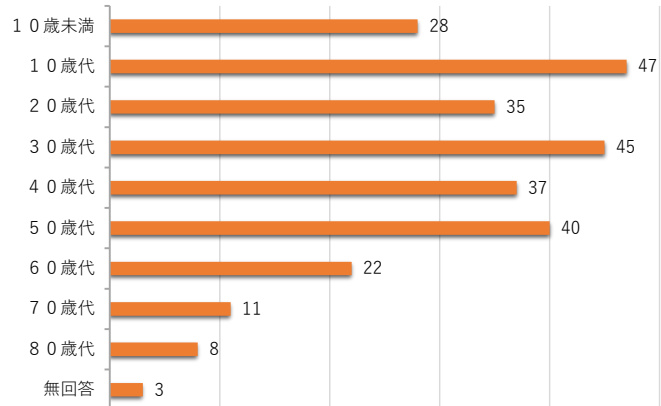
(2) 事業者向けアンケート

調査対象者	① 市内障害福祉サービス等事業所 ② 都内障害者支援施設（区部、島しょ部除く。）
調査方法	電子メールで配布、回答受付
調査期間	令和7年6月3日（火）～令和7年6月20日（金）
配布件数	211件
有効回答件数	39件 ※ 立場の違う職員からも回答を受け付けるため、1事業所につき複数件の回答を可能とした上で、延べ件数としている。
回答率	18.5%

3 集計結果（当事者・ご家族の方向けアンケート）

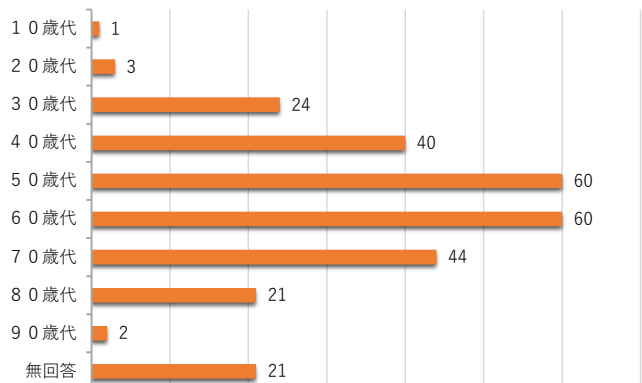
【問1】あなた（障がいのある方）の年齢を教えてください。（自由記述）

項 目	回答数	割 合
10歳未満	28	10.1%
10歳代	47	17.0%
20歳代	35	12.7%
30歳代	45	16.3%
40歳代	37	13.4%
50歳代	40	14.5%
60歳代	22	8.0%
70歳代	11	4.0%
80歳代	8	2.9%
無回答	3	1.1%
回答者数	276	100.0%



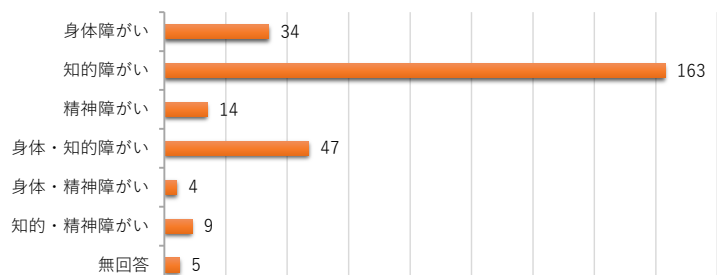
【問2】主として介護している方の年代を教えてください。（1つを選択）

項 目	回答数	割 合
10歳代	1	0.4%
20歳代	3	1.1%
30歳代	24	8.7%
40歳代	40	14.5%
50歳代	60	21.7%
60歳代	60	21.7%
70歳代	44	15.9%
80歳代	21	7.6%
90歳代	2	0.7%
無回答	21	7.6%
回答者数	276	100.0%



【問3】障がいのある方の障がいの種別等を教えてください。（複数選択）

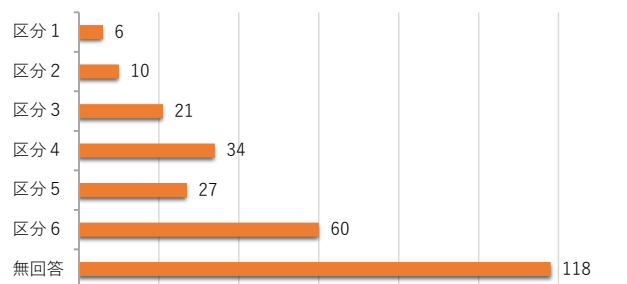
項 目	回答数	割 合
身体障がい	34	12.3%
知的障がい	163	59.1%
精神障がい	14	5.1%
身体・知的障がい	47	17.0%
身体・精神障がい	4	1.4%
知的・精神障がい	9	3.3%
無回答	5	1.8%
回答者数	276	100.0%



※ 「身体・知的障がい」は、身体障がいと知的障がいの両方がある方を指す。

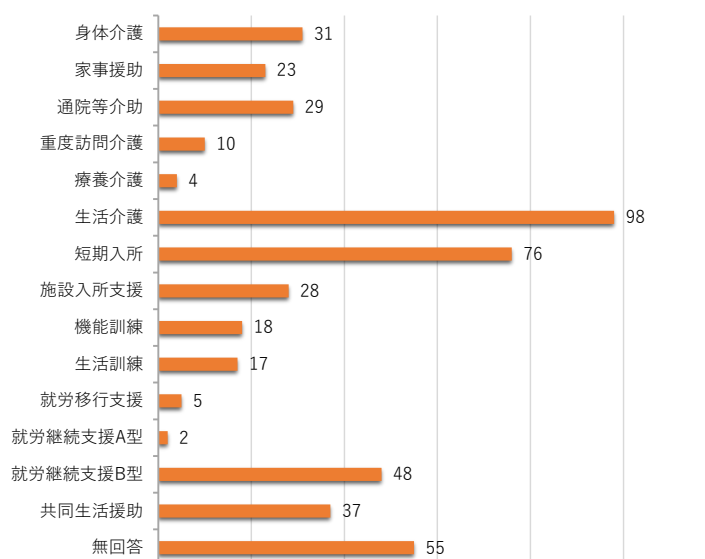
【問4】障害支援区分を教えてください。（1つを選択）

項 目	回答数	割 合
区分 1	6	2.2%
区分 2	10	3.6%
区分 3	21	7.6%
区分 4	34	12.3%
区分 5	27	9.8%
区分 6	60	21.7%
無回答	118	42.8%
回答者数	276	100.0%



【問5】利用している障害福祉サービスを教えてください。（複数選択）

項 目	回答数	割 合
身体介護	31	11.2%
家事援助	23	8.3%
通院等介助	29	10.5%
重度訪問介護	10	3.6%
療養介護	4	1.4%
生活介護	98	35.5%
短期入所	76	27.5%
施設入所支援	28	10.1%
機能訓練	18	6.5%
生活訓練	17	6.2%
就労移行支援	5	1.8%
就労継続支援A型	2	0.7%
就労継続支援B型	48	17.4%
共同生活援助	37	13.4%
無回答	55	19.9%
回答者数	276	100.0%

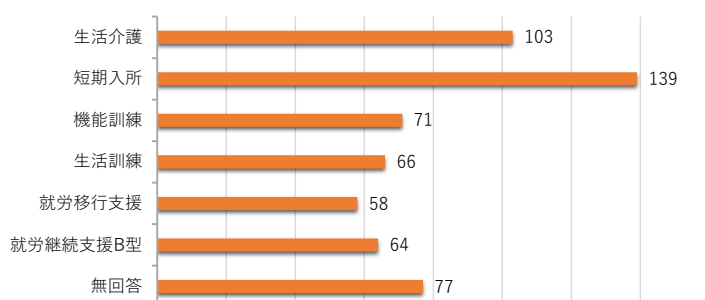


※ 複数選択回答のため、各項目の回答数の合計は回答者数と一致しない。

【問6】不足していると思う障害福祉サービスはありますか。（複数選択）

● 不足していると思う障害福祉サービスは、短期入所が最も多く、次いで生活介護、機能訓練が多かった。（無回答除く）

項 目	回答数	割 合
生活介護	103	37.3%
短期入所	139	50.4%
機能訓練	71	25.7%
生活訓練	66	23.9%
就労移行支援	58	21.0%
就労継続支援B型	64	23.2%
無回答	77	27.9%
回答者数	276	100.0%



※ 複数選択回答のため、各項目の回答数の合計は回答者数と一致しない。

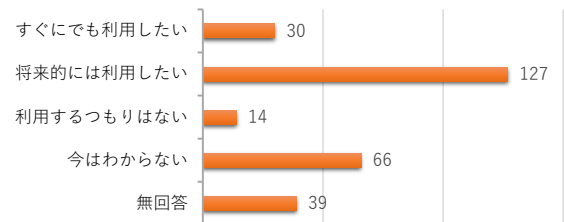
【問 7】あなたは入所施設を利用したいですか。（1つを選択）

【問 8】問 7 で「将来的には利用したい。」を選択した場合、何年後の利用を考えていますか。（自由記述）

- 利用の希望は、「将来的には利用したい」が最も多く、「すぐにでも利用したい」と合わせると全体の半数以上の方（56.9%）が入所施設の利用を希望していた。
- 当事者の障がい種別でみると、知的障がいのある方（身体障がいや精神障がいとの重複者を含む）で入所施設の利用を希望している方（「すぐにでも利用したい」と「将来的には利用したい」の合計）は、全体の49.3%に達していた。
- 入所時期の希望は、全体としては7年～10年以内が最も多かった。一方で、当事者の年代別でみると、20歳代～40歳代の方は比較的早期（6年以内）の入所を希望している方が多かった。

（問 7：入所施設利用の希望）

項 目	回答数	割 合
すぐにでも利用したい	30	10.9%
将来的には利用したい	127	46.0%
利用するつもりはない	14	5.1%
今はわからない	66	23.9%
無回答	39	14.1%
回答者数	276	100.0%



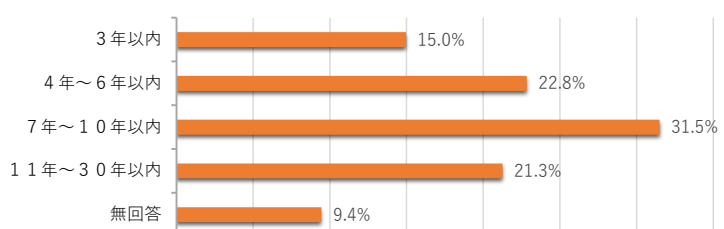
（問 7：当事者の障がい種別クロス集計）

項 目		全 体	当事者の障がい種別					
			知的	知的 と身体	知的 と精神	身体	身体 と精神	精神
すぐにでも利用したい	回答者数 割 合	30 100.0%	15 50.0%	11 36.7%	2 6.7%	2 6.7%	0 0.0%	0 0.0%
将来的には利用したい	回答者数 割 合	127 100.0%	81 63.8%	24 18.9%	3 2.4%	13 10.2%	1 0.8%	4 3.1%
利用するつもりはない	回答者数 割 合	14 100.0%	8 57.1%	0 0.0%	1 7.1%	2 14.3%	1 7.1%	2 14.3%
今はわからない	回答者数 割 合	66 100.0%	37 56.1%	7 10.6%	2 3.0%	14 21.2%	1 1.5%	4 6.1%

※ クロス集計の設問に対していずれかが無回答のものは表中に含めていないため、各項目の回答数の合計は全体の回答者数と一致しない項目がある。

（問 8：何年後の利用を考えているか）

項 目	回答数	割 合
3年以内	19	15.0%
4年～6年以内	29	22.8%
7年～10年以内	40	31.5%
11年～30年以内	27	21.3%
無回答	12	9.4%
回答者数	127	100.0%



（問 7・問 8：当事者の年代別クロス集計）

項 目		全 体	当事者の年代							
			10歳未満	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上
すぐにでも利用したい	回答者数 割 合	30 100.0%	1 3.3%	4 13.3%	6 20.0%	7 23.3%	6 20.0%	4 13.3%	0 0.0%	2 6.7%
3年以内	回答者数 割 合	19 100.0%	2 10.5%	3 15.8%	4 21.1%	3 15.8%	3 15.8%	2 10.5%	2 10.5%	0 0.0%
4年～6年以内	回答者数 割 合	29 100.0%	0 0.0%	8 27.6%	8 27.6%	5 17.2%	4 13.8%	2 6.9%	1 3.4%	1 3.4%
7年～10年以内	回答者数 割 合	40 100.0%	4 10.0%	13 32.5%	8 20.0%	7 17.5%	4 10.0%	2 5.0%	1 2.5%	1 2.5%
11年～30年以内	回答者数 割 合	27 100.0%	12 44.4%	6 22.2%	1 3.7%	4 14.8%	1 3.7%	1 3.7%	1 3.7%	0 0.0%

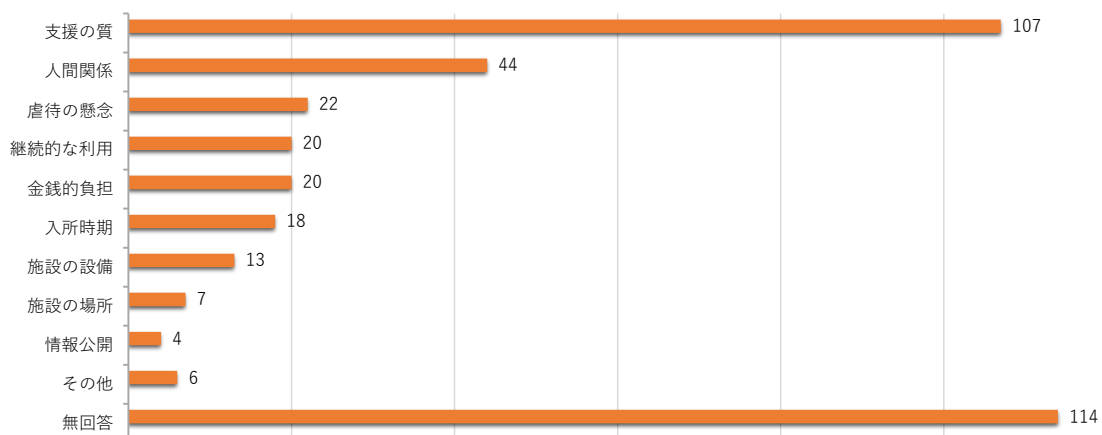
※ クロス集計の設問に対していずれかが無回答のものは表中に含めていないため、各項目の回答数の合計は全体の回答者数と一致しない項目がある。

【問 9】利用することになった場合、不安に思うことはありますか。（自由記述）

● 不安に思うことは、支援の質に関する内容が最も多く、次いで人間関係、虐待の懸念に関する内容が多かった。（無回答除く）

項 目	主な意見の内容	回答数	割 合
支援の質	職員の確保も含め、本人に合った質の良い支援が受けられるか。	107	38.8%
人間関係	本人が入所者や職員とうまくなじんでいけるか。	44	15.9%
虐待の懸念	施設内で虐待されることはないか。	22	8.0%
継続的な利用	親なき後も含め、ずっと利用し続けられるか。	20	7.2%
金銭的負担	毎月支払い続けられる利用料か。	20	7.2%
入所時期	入所したいタイミングですぐ入所できるか。	18	6.5%
施設の設備	プライバシーの確保や、特性に応じた設備となっているか。	13	4.7%
施設の場所	家族が会いに行きやすい距離にあるか。	7	2.5%
情報公開	本人が過ごしている様子を把握できるか。	4	1.4%
その他	上記以外の内容	6	2.2%
無回答		114	41.3%
回答者数		276	100.0%

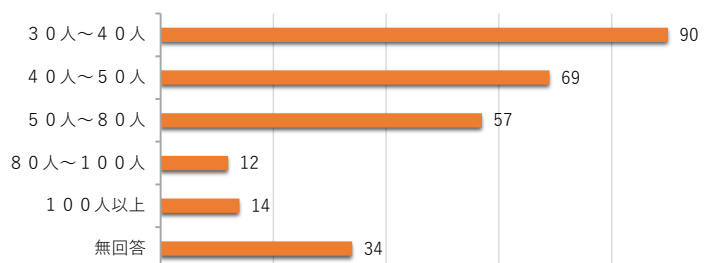
※ 記述内容を項目ごとに集計。複数の項目に該当する内容もあるため、各項目の回答数の合計は回答者数と一致しない。



【問 10】小金井市に入所施設ができるとしたら、定員は何人くらいが適当だと思いますか。（1つを選択）

● 適当と思う定員は、30人～40人が最も多く、次いで40～50人が多かった。

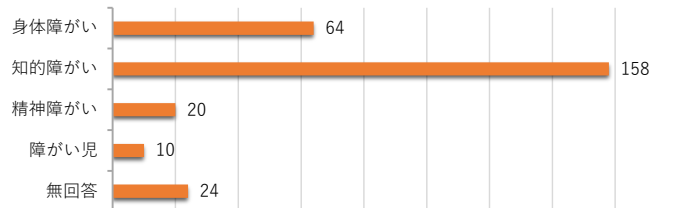
項 目	回答数	割 合
30人～40人	90	32.6%
40人～50人	69	25.0%
50人～80人	57	20.7%
80人～100人	12	4.3%
100人以上	14	5.1%
無回答	34	12.3%
回答者数	276	100.0%



【問 1 1】どのような障がい種別を対象とする施設が必要だと思いますか。（1つを選択）

● 対象とする障がい種別は、知的障がい者が最も多く、次いで身体障がい者が多かった。

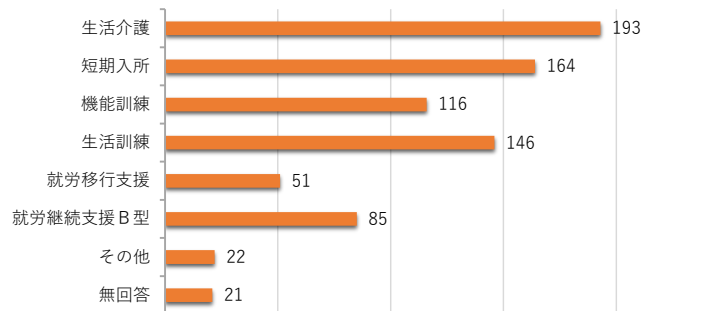
項 目	回答数	割 合
身体障がい	64	23.2%
知的障がい	158	57.2%
精神障がい	20	7.2%
障がい児	10	3.6%
無回答	24	8.7%
回答者数	276	100.0%



【問 1 2】入所施設にはどのようなサービスがあるといいと思いますか。（複数選択）

● 望まれる障害福祉サービスは、生活介護が最も多く、次いで短期入所、生活訓練が多かった。

項 目	回答数	割 合
生活介護	193	69.9%
短期入所	164	59.4%
機能訓練	116	42.0%
生活訓練	146	52.9%
就労移行支援	51	18.5%
就労継続支援 B 型	85	30.8%
その他	22	8.0%
無回答	21	7.6%
回答者数	276	100.0%



※ 複数選択回答のため、各項目の回答数の合計は回答者数と一致しない。

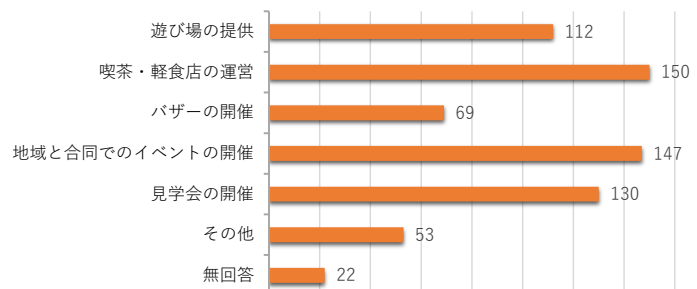
【その他の主な内容】

- ・送迎、移動支援サービス
- ・グループホーム
- ・医療的ケア
- ・地域交流、活動ができるスペースの提供
- ・放課後等デイサービス

【問 1 3】地域に開かれたサービスとして、どのようなものが考えられますか。（複数選択）

● 望まれるサービスは、喫茶・飲食店の運営が最も多く、次いで地域と合同でのイベント、見学会の開催が多かった。

項 目	回答数	割 合
遊び場の提供	112	40.6%
喫茶・軽食店の運営	150	54.3%
バザーの開催	69	25.0%
地域と合同でのイベントの開催	147	53.3%
見学会の開催	130	47.1%
その他	53	19.2%
無回答	22	8.0%
回答者数	276	100.0%



※ 複数選択回答のため、各項目の回答数の合計は回答者数と一致しない。

【その他の主な内容】

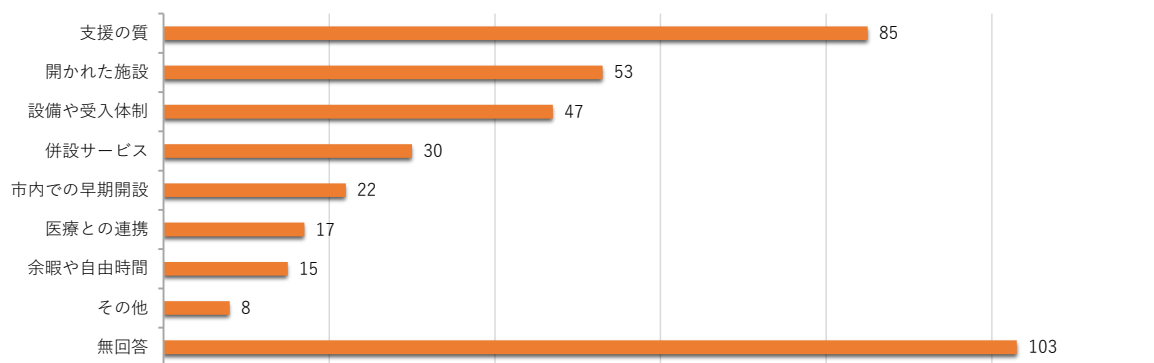
- ・地域住民が活動できるスペースの提供
- ・障がい種別ごとに対象を分けたイベント
- ・ボランティアの参加・受入、スタッフ体験
- ・高齢者施設、児童施設、文化施設、農園などとの併設
- ・医療機関との連携
- ・企業や役所などからの生産活動、仕事の提供
- ・近隣の方や市民への障がい理解の場の提供
- ・地域で暮らす障がいのある方への相談対応やサポート

【問 1 4】小金井市に入所施設ができるとしたら、どのような施設であってほしいですか。（自由記述）

● 入所施設に求めるものは、支援の質に関する内容が最も多く、次いで開かれた施設、設備や受入体制に関する内容が多かった。（無回答除く）

項 目	主な意見の内容	回答数	割 合
支援の質	・知識や経験が豊富な職員が十分に配置されている。 ・本人が安心して暮らし続けられるような支援が受けられる。 ・栄養面の配慮や、偏食に対応した食事管理をしてくれる。 ・虐待を防止するための取組が十分されている。	85	30.8%
開かれた施設	・地域住民が交流できるイベントや、利用できるスペースがある。 ・本人が過ごしている様子など、施設からの情報公開がされている。 ・地域で暮らす障がいのある方の相談拠点となる。	53	19.2%
設備や受入体制	・入所したいタイミングで（市民優先で）入所できる。 ・様々な種類や重度の障がいの特性に応じた設備が整っている。 ・施設全体が明るく、きれいになっている。	47	17.0%
併設サービス	・様々な障がいのある方が利用できるショートステイがある。 ・外部の方も利用できる生活介護等のサービスがある。 ・高齢となった親や家族も一緒に入所できる。	30	10.9%
市内での早期開設	・親の高齢化や本人の学校卒業を見越し、早期開設が望まれる。 ・市内に入所施設があれば、本人が住み慣れた地域で過ごせて家族も通いやすい。	22	8.0%
医療との連携	・施設で医療的ケアを受けられる。 ・医療機関と連携が取れており、必要時・緊急時に対応できる。	17	6.2%
余暇や自由時間	・本人が楽しめるようなレクリエーション、余暇活動が充実している。 ・自由時間が確保され、希望があれば自宅に帰ることもできる。	15	5.4%
その他	・上記以外の内容	8	2.9%
無回答		103	37.3%
回答者数		276	100.0%

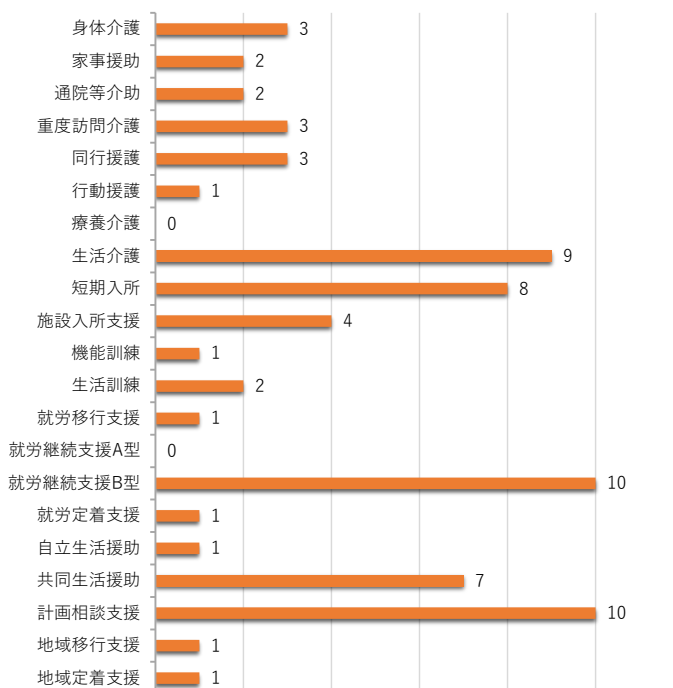
※ 記述内容を項目ごとに集計。複数の項目に該当する内容もあるため、各項目の回答数の合計は回答者数と一致しない。



4 集計結果（事業者向けアンケート）

【問１】提供している障害福祉サービスをお答えください。（複数選択）

項 目	回答数	割 合
身体介護	3	7.7%
家事援助	2	5.1%
通院等介助	2	5.1%
重度訪問介護	3	7.7%
同行援護	3	7.7%
行動援護	1	2.6%
療養介護	0	0.0%
生活介護	9	23.1%
短期入所	8	20.5%
施設入所支援	4	10.3%
機能訓練	1	2.6%
生活訓練	2	5.1%
就労移行支援	1	2.6%
就労継続支援A型	0	0.0%
就労継続支援B型	10	25.6%
就労定着支援	1	2.6%
自立生活援助	1	2.6%
共同生活援助	7	17.9%
計画相談支援	10	25.6%
地域移行支援	1	2.6%
地域定着支援	1	2.6%
回答者数	39	100.0%

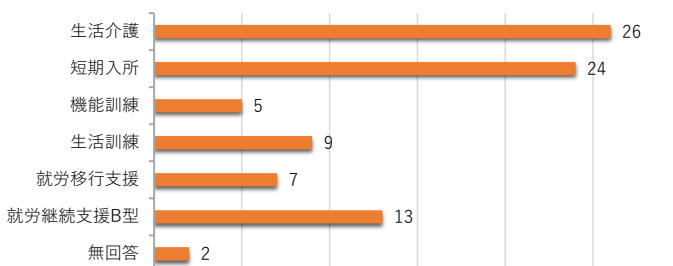


※ 複数選択回答のため、各項目の回答数の合計は回答者数と一致しない。

【問２】不足していると思う障害福祉サービスをお答えください。（複数選択）

● 不足していると思う障害福祉サービスは、生活介護が最も多く、次いで短期入所、就労継続支援B型が多かった。

項 目	回答数	割 合
生活介護	26	66.7%
短期入所	24	61.5%
機能訓練	5	12.8%
生活訓練	9	23.1%
就労移行支援	7	17.9%
就労継続支援B型	13	33.3%
無回答	2	5.1%
回答者数	39	100.0%

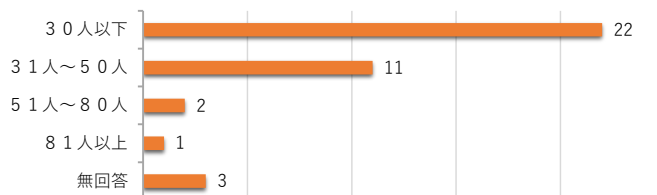


※ 複数選択回答のため、各項目の回答数の合計は回答者数と一致しない。

【問３】入所定員は何人くらいが適当だと思いますか。（自由記述）

● 適当と思う定員は、３０人以下が最も多く、次いで３１人～５０人が多かった。

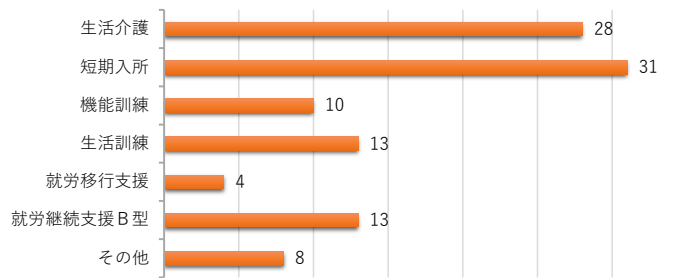
項 目	回答数	割 合
３０人以下	22	56.4%
３１人～５０人	11	28.2%
５１人～８０人	2	5.1%
８１人以上	1	2.6%
無回答	3	7.7%
回答者数	39	100.0%



【問４】どのような併設サービスが必要だと思いますか。（複数選択）

● 必要と思う併設サービスは、短期入所が最も多く、次いで生活介護、生活訓練、就労継続支援Ｂ型が多かった。

項 目	回答数	割 合
生活介護	28	71.8%
短期入所	31	79.5%
機能訓練	10	25.6%
生活訓練	13	33.3%
就労移行支援	4	10.3%
就労継続支援Ｂ型	13	33.3%
その他	8	20.5%
回答者数	39	100.0%



※ 複数選択回答のため、各項目の回答数の合計は回答者数と一致しない。

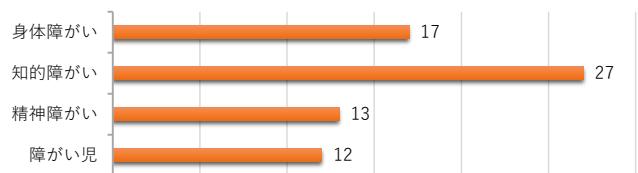
【その他の主な内容】

- ・訪問看護、病院などの医療サービス
- ・相談支援事業所
- ・緊急時の一時預かりサービス
- ・移動支援サービス

【問５】どのような障がい種別を対象とする施設が必要だと思いますか。（１つを選択）

● 対象とする障がい種別は、知的障がい者が最も多く、次いで身体障がい者が多かった。

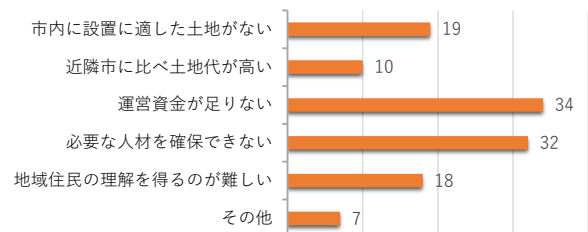
項 目	回答数	割 合
身体障がい	17	43.6%
知的障がい	27	69.2%
精神障がい	13	33.3%
障がい児	12	30.8%
回答者数	39	100.0%



【問６】入所施設を設置（誘致）する場合の課題は何だと思いますか。（複数選択）

● 設置（誘致）に当たっての課題は、運営資金不足が最も多く、次いで人材の確保、土地の確保が多かった。

項 目	回答数	割 合
市内に設置に適した土地がない	19	48.7%
近隣市に比べ土地代が高い	10	25.6%
運営資金が足りない	34	87.2%
必要な人材を確保できない	32	82.1%
地域住民の理解を得るのが難しい	18	46.2%
その他	7	17.9%
回答者数	39	100.0%



※ 複数選択回答のため、各項目の回答数の合計は回答者数と一致しない。

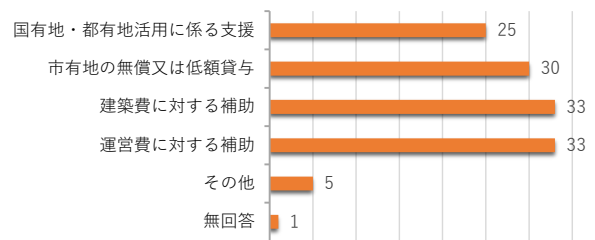
【その他の主な内容】

- ・利用者が集まるか地域のニーズが不明である。
- ・行政の支援が不足している。
- ・複雑な関連制度の理解が難しい。
- ・医療とうまく連携できるか。

【問 7】民間の法人が入所施設を開設する場合、どのような公的支援が必要だと思いますか。（複数選択）

● 必要と思う公的支援は、建築費補助、運営費補助が最も多く、次いで市有地の提供が多かった。

項 目	回答数	割 合
国有地・都用地活用に係る支援	25	64.1%
市有地の無償又は低額貸与	30	76.9%
建築費に対する補助	33	84.6%
運営費に対する補助	33	84.6%
その他	5	12.8%
無回答	1	2.6%
回答者数	39	100.0%



※ 複数選択回答のため、各項目の回答数の合計は回答者数と一致しない。

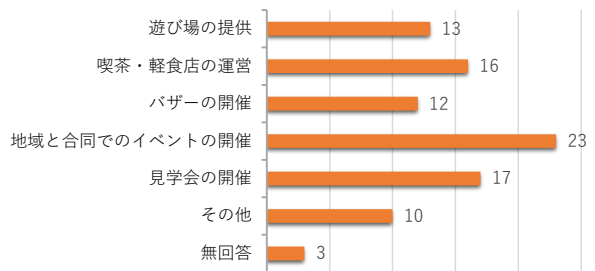
【その他の主な内容】

- ・職員確保の支援（資格取得のための研修実施を含む）
- ・市民に対する障がい理解促進の取組

【問 8】地域に開かれたサービスとして、どのようなものが考えられますか。（複数選択）

● 望まれるサービスは、地域と合同でのイベント開催が最も多く、次いで見学会の開催、喫茶・飲食店の運営が多かった。

項 目	回答数	割 合
遊び場の提供	13	33.3%
喫茶・軽食店の運営	16	41.0%
バザーの開催	12	30.8%
地域と合同でのイベントの開催	23	59.0%
見学会の開催	17	43.6%
その他	10	25.6%
無回答	3	7.7%
回答者数	39	100.0%



※ 複数選択回答のため、各項目の回答数の合計は回答者数と一致しない。

【その他の主な内容】

- ・地域住民が活動できるスペースの提供
- ・災害時の拠点（福祉避難所、防災倉庫）
- ・利用者と地域住民との適切な距離感の確保

【問 9】入所施設を運営するにあたり、困難に感じていることを教えてください。（自由記述）

● 困難に感じることは、人材の確保・育成に関する内容が最も多く、次いで運営資金の確保、行政の協力不足に関する内容が多かった。（無回答除く）

項 目	主な意見の内容	回答数	割 合
人材の確保・育成	職員を募集してもなかなか集まらず、定着・育成も難しい。	7	17.9%
運営資金の確保	給付費の単価が低い一方、物価高騰も相まって経営を圧迫している。	5	12.8%
行政の協力不足	行政の協力が思うように得られない。	2	5.1%
利用者の対応	多様化している本人や家族のニーズへ対応するが難しい。	1	2.6%
施設のあり方	障害者権利条約に基づく国連からの勧告により、入所施設のあり方が不透明になっている。	1	2.6%
無回答		28	71.8%
回答者数		39	100.0%

※ 記述内容を項目ごとに集計。複数の項目に該当する内容もあるため、各項目の回答数の合計は回答者数と一致しない。

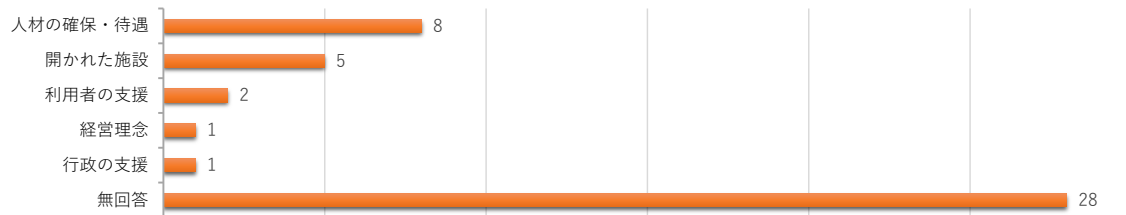


【問 1 0】入所施設を運営するにあたり、重要だと思うことを教えてください。（自由記述）

● 重要だと思うことは、人材の確保・待遇に関する内容が最も多く、次いで開かれた施設、利用者の支援に関する内容が多かった。（無回答除く）

項 目	主な意見の内容	回答数	割 合
人材の確保・待遇	優秀な人材を確保し、職員を大切にすること。	8	20.5%
開かれた施設	地域に貢献するとともに、健全で透明性のある運営をすること。	5	12.8%
利用者の支援	利用者の生活の質の向上を中心に考え、常に改善を続けること。	2	5.1%
経営理念	経営理念とそれに沿った実践を行うこと。	1	2.6%
行政の支援	行政のバックアップがあること。	1	2.6%
無回答		28	71.8%
回答者数		39	100.0%

※ 記述内容を項目ごとに集計。複数の項目に該当する内容もあるため、各項目の回答数の合計は回答者数と一致しない。

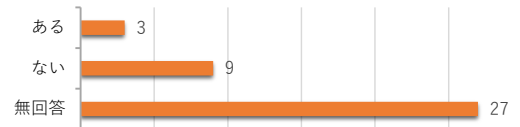


【問 1 1】所在地の自治体居住者（支給決定者）の優先利用等がありますか。（1つを選択）

【問 1 2】優先利用の内容を教えてください。（自由記述）

● 優先利用等については、行っていない場合の方が多かった。（無回答除く）

項 目	回答数	割 合
ある	3	7.7%
ない	9	23.1%
無回答	27	69.2%
回答者数	39	100.0%



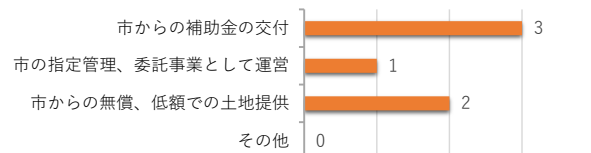
【優先利用の内容】

- ・定員の 7 割は市民、3 割は市外の方
- ・定員の 7 5 % は市民
- ・6 人（ただし数年前より地域移行の推進などから、市からはこの人数を下回っても良いと口頭で言われている）

【問 1 3】優先枠を設けている理由（条件）を教えてください。（複数選択）

● 優先枠の理由（条件）は、市からの補助金の交付、土地提供、指定管理又は委託事業を要件とするものがあつた。

項 目	回答数	割 合
市からの補助金の交付	3	100.0%
市の指定管理、委託事業として運営	1	33.3%
市からの無償、低額での土地提供	2	66.7%
その他	0	0.0%
回答者数	3	100.0%



※ 複数選択回答のため、各項目の回答数の合計は回答者数と一致しない。

【問 1 4】小金井市にはどのような入所施設が必要だと思いますか。（自由記述）

● 入所施設に求めるものは、設備や受入体制に関する内容が最も多く、次いで併設サービス、施設の規模に関する内容が多かった。（無回答除く）

項 目	主な意見の内容	回答数	割 合
設備や受入体制	・ 様々な種類や重度の障がいのある方を受け入れられる。 ・ 施設全体が明るく、きれいなつくりになっている。	11	28.2%
併設サービス	・ ニーズの高い短期入所や生活介護を併設している。 ・ 現状市内にない児童向けの短期入所を併設している。	9	23.1%
施設の規模	・ 小さなコミュニティから社会性を養っていく必要がある。 ・ 入所施設だけでなくグループホームの整備も必要である。	8	20.5%
開かれた施設	・ 地域で暮らし続けられるよう、緊急時や長期的な支援の拠点となっている。 ・ 情報が開示され、地域の方に障がい者理解が深まる取組を行っている。	4	10.3%
その他	・ 上記以外の内容	4	10.3%
無回答		11	28.2%
回答者数		39	100.0%

※ 記述内容を項目ごとに集計。複数の項目に該当する内容もあるため、各項目の回答数の合計は回答者数と一致しない。

